

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年12月9日
【四半期会計期間】	第53期第3四半期（自 2020年8月1日 至 2020年10月31日）
【会社名】	ミライアル株式会社
【英訳名】	Miraial Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 兵部 匡俊
【本店の所在の場所】	東京都豊島区東池袋一丁目24番1号
【電話番号】	03-3986-3782
【事務連絡者氏名】	管理部経理課長 板羽 恒
【最寄りの連絡場所】	東京都豊島区東池袋一丁目24番1号
【電話番号】	03-3986-3782
【事務連絡者氏名】	管理部経理課長 板羽 恒
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第3四半期連結 累計期間	第53期 第3四半期連結 累計期間	第52期
会計期間	自2019年2月1日 至2019年10月31日	自2020年2月1日 至2020年10月31日	自2019年2月1日 至2020年1月31日
売上高 (千円)	7,281,217	7,346,431	9,582,286
経常利益 (千円)	1,075,638	661,144	1,355,693
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	718,320	801,593	913,032
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	626,699	756,766	705,511
純資産額 (千円)	18,172,952	18,752,375	18,251,764
総資産額 (千円)	22,140,400	22,825,305	22,118,121
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	79.92	89.11	101.58
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	82.1	82.2	82.5

回次	第52期 第3四半期連結 会計期間	第53期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年8月1日 至2019年10月31日	自2020年8月1日 至2020年10月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	23.86	11.90

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移等については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む不動産賃貸等事業について、2020年5月29日に賃貸に供する不動産を譲渡したことにより、同事業から撤退いたしました。

この結果、2020年10月31日現在では、当社グループは、プラスチック成形事業、成形機事業の2つのセグメント情報区分に関する事業を営んでおります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社を取り巻く経営環境は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により世界景気の低迷が続く中、半導体業界の需要に関しては引き続き堅調に推移しましたが、品質改善活動の推進及び品種構成の変化等もあり、前年同期比増収減益となりました。また、成形機事業については、設備投資に慎重な姿勢が継続しており、一部緩やかな回復基調がみられるものの、受注環境は厳しい状況となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,346百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は597百万円（前年同期比39.9%減）、経常利益は661百万円（前年同期比38.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は801百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(プラスチック成形事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,420百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は835百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

(成形機事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は953百万円（前年同期比37.5%減）、営業利益は95百万円（前年同期比53.6%減）となりました。

(不動産賃貸等事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は49百万円（前年同期比56.6%減）、営業利益は25百万円（前年同期比63.5%減）となりました。なお、2020年5月29日に賃貸に供する不動産を譲渡したことにより、2020年10月31日現在において、同事業から撤退しております。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,287百万円増加し、15,719百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,764百万円、受取手形及び売掛金の増加253百万円があったこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,579百万円減少し、7,105百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少2,565百万円があったこと等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,078百万円増加し、3,225百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加597百万円、未払法人税等の増加292百万円があったこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて872百万円減少し、847百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少1,025百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて500百万円増加し、18,752百万円となりました。これは主に、配当金の支払269百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益801百万円の計上があったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は52百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上重要な契約の決定又は締結はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,800,000
計	28,800,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年10月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年12月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,120,000	10,120,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,120,000	10,120,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2020年8月1日～ 2020年10月31日	-	10,120,000	-	1,111,000	-	-

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年7月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,119,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,995,500	89,955	-
単元未満株式	普通株式 5,100	-	-
発行済株式総数	10,120,000	-	-
総株主の議決権	-	89,955	-

【自己株式等】

2020年10月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ミライアル株式会社	東京都豊島区東池袋1-24-1	1,119,400	-	1,119,400	11.06
計	-	1,119,400	-	1,119,400	11.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年8月1日から2020年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年2月1日から2020年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,296,012	11,060,920
受取手形及び売掛金	2,801,120	3,054,956
商品及び製品	611,949	546,497
仕掛品	428,570	627,071
原材料及び貯蔵品	255,884	250,375
その他	39,377	180,165
流動資産合計	12,432,913	15,719,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,591,329	7,143,134
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,800,909	3,843,385
建物及び構築物(純額)	2,790,419	3,299,748
機械装置及び運搬具	6,363,786	6,378,282
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,750,255	5,848,597
機械装置及び運搬具(純額)	613,531	529,684
土地	3,522,524	1,593,937
建設仮勘定	1,168,877	796
その他	5,130,588	5,126,461
減価償却累計額及び減損損失累計額	4,384,232	4,274,587
その他(純額)	746,355	851,874
有形固定資産合計	8,841,707	6,276,042
無形固定資産	60,009	90,104
投資その他の資産		
投資有価証券	401,458	311,816
保険積立金	130,743	111,539
繰延税金資産	175,870	229,924
その他	75,417	85,890
投資その他の資産合計	783,489	739,172
固定資産合計	9,685,207	7,105,318
資産合計	22,118,121	22,825,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	982,705	1,579,892
1年内返済予定の長期借入金	99,996	-
未払法人税等	118,123	410,760
賞与引当金	222,062	323,226
受注損失引当金	2,056	5,537
製品保証引当金	1,287	584
その他	720,094	905,233
流動負債合計	2,146,326	3,225,235
固定負債		
長期借入金	1,025,019	-
退職給付に係る負債	340,873	351,789
役員退職慰労未払金	131,780	131,780
繰延税金負債	54,598	54,931
その他	167,760	309,192
固定負債合計	1,720,031	847,693
負債合計	3,866,357	4,072,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,310,000	1,304,187
利益剰余金	17,452,960	17,984,787
自己株式	1,759,459	1,740,034
株主資本合計	18,114,501	18,659,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,328	23,792
為替換算調整勘定	203	201
退職給付に係る調整累計額	158,388	116,429
その他の包括利益累計額合計	137,262	92,435
純資産合計	18,251,764	18,752,375
負債純資産合計	22,118,121	22,825,305

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	7,281,217	7,346,431
売上原価	5,214,804	5,520,828
売上総利益	2,066,413	1,825,602
販売費及び一般管理費	1,072,288	1,227,637
営業利益	994,124	597,965
営業外収益		
受取利息	782	387
受取配当金	30,767	5,027
保険返戻金	15,072	20,709
受取賃貸料	7,996	8,088
売電収入	35,646	32,950
その他	7,270	12,924
営業外収益合計	97,536	80,088
営業外費用		
支払利息	1,431	634
減価償却費	11,934	10,526
その他	2,656	5,748
営業外費用合計	16,023	16,909
経常利益	1,075,638	661,144
特別利益		
固定資産売却益	2,800	722,125
特別利益合計	2,800	722,125
特別損失		
固定資産除却損	47,771	-
投資有価証券評価損	-	87,495
特別損失合計	47,771	87,495
税金等調整前四半期純利益	1,030,667	1,295,775
法人税、住民税及び事業税	284,442	528,647
法人税等調整額	27,904	34,465
法人税等合計	312,346	494,181
四半期純利益	718,320	801,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	718,320	801,593

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	718,320	801,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	382	2,464
為替換算調整勘定	1,217	404
退職給付に係る調整額	90,785	41,959
その他の包括利益合計	91,621	44,827
四半期包括利益	626,699	756,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	626,699	756,766

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
受取手形	38,539千円	7,324千円
支払手形	43,765	243,160

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)
減価償却費	294,050千円	349,566千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2019年2月1日至2019年10月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月25日 定時株主総会	普通株式	179,762	20	2019年1月31日	2019年4月26日	利益剰余金
2019年9月9日 取締役会	普通株式	89,880	10	2019年7月31日	2019年10月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年10月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月22日 定時株主総会	普通株式	179,761	20	2020年1月31日	2020年4月23日	利益剰余金
2020年9月8日 取締役会	普通株式	90,005	10	2020年7月31日	2020年10月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2019年2月1日 至2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	不動産賃貸等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,643,142	1,523,428	114,646	7,281,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,827	3,462	-	49,289
計	5,688,970	1,526,890	114,646	7,330,507
セグメント利益	1,058,479	206,649	70,351	1,335,480

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,335,480
セグメント間取引消去	3,905
全社費用(注)	345,261
四半期連結損益計算書の営業利益	994,124

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	不動産賃貸等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,345,471	951,238	49,721	7,346,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75,340	2,513	-	77,853
計	6,420,811	953,752	49,721	7,424,284
セグメント利益	835,290	95,807	25,703	956,801

(注) 当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む不動産賃貸等事業について、2020年5月29日に賃貸に供する不動産を譲渡したことにより、同事業から撤退いたしました。この結果、2020年10月31日現在では、当社グループは、プラスチック成形事業、成形機事業の2つのセグメント情報区分に関する事業を営むこととなりました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	956,801
セグメント間取引消去	12,533
全社費用(注)	371,370
四半期連結損益計算書の営業利益	597,965

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
1株当たり四半期純利益	79円92銭	89円11銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	718,320	801,593
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	718,320	801,593
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,988	8,995

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年9月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....90,005千円

(ロ) 1株当たりの金額.....10円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2020年10月5日

(注) 2020年7月31日現在の株主名簿に記載された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年12月9日

ミライアル株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂本 一朗 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小堀 一英 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミライアル株式会社の2020年2月1日から2021年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年8月1日から2020年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年2月1日から2020年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミライアル株式会社及び連結子会社の2020年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。